

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

| 1-1 建物概要 |                         | 1-2 外観 |                 |
|----------|-------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)エスリード太秦一ノ井町24番1     | 階数     | 地上5F            |
| 建設地      | 京都市右京区太秦一ノ井町24番1        | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 第一種住居地域, 準防火地域          | 平均居住人員 | 176 人           |
| 地域区分     | 6地域                     | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅,                   | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2019年7月 予定              | 評価の実施日 | 2018年7月19日      |
| 敷地面積     | 1,824.39 m <sup>2</sup> | 作成者    | アクセス都市設計 小川 哲史  |
| 建築面積     | 1,012.40 m <sup>2</sup> | 確認日    | 2018年7月20日      |
| 延床面積     | 4,145.65 m <sup>2</sup> | 確認者    | アクセス都市設計 湯淺 勝也  |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

| 3 設計上の配慮事項   |  |   |
|--|--|---|
| <b>総合</b>  |  | <b>その他</b>  |
| 躯体材料の耐用年数や、空調・給排水配管の更新必要間隔が長くなるように配慮した。<br>住戸は、高い昼光率を確保し、太陽光発電やエコジョーズ、LED照明を採用し、地域環境および周辺環境への配慮を行った。 |  |   |
| <b>Q1 室内環境</b><br>内装の仕上げにはF☆☆☆☆を採用し、化学物質の発生に配慮した<br>専有部には光を多く取り入れるよう配慮した                             | <b>Q2 サービス性能</b><br>各住戸にはGbitクラス以上のブロードバンドが利用可能な環境を整備し、躯体材料は品確法劣化対策等級3とし、耐用年数が長くなるよう配慮した | <b>Q3 室外環境 (敷地内)</b><br>シンボルツリーや緑地を道路に面する敷地角に配置し、隣地境界部分には生垣や低木を配置した       |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>太陽光発電やエコジョーズ・LED照明を採用し、設備システムの高効率化に努めた   | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>ノンフロン断熱材を採用し、汚染物質含有材料の使用回避に配慮した。                                  | <b>LR3 敷地外環境</b><br>自転車スペースを適正に確保し、地域インフラへの負荷抑制に努めた<br>屋外広告物はなく、光害の抑制に努めた |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される